

15 フィギュアスケートモニュメント設置業務委託



宮城県仙台市青葉区にある五色沼は、フィギュアスケート発祥の地です。また仙台市は冬季オリンピックのフィギュアスケートにおいて、日本人初の男女の金メダリストとなった荒川静香さん、羽生結弦選手にゆかりがある土地でもあります。

この2つの趣旨を国内外にアピールする目的で、仙台市においてモニュメントの公募型プロポーザルが行われ、選定委員会による審査の結果、弊社デザインを採用頂く事ができました。

演目の最後のポーズや金メダルを獲得した瞬間の感動は、今のなお多くの人の記憶に鮮明に残っています。選手の姿を等身大のシルエットで表現する事で応援していたファン其々の心情を投影し、想いを馳せて頂く事を考えました。

モニュメント本体は、強化ガラスで表現する事にしました。

ガラスは強化合わせガラスで、表示内容はガラスの間に挟み込んでいるため、イタズラや色あせの心配がありません。強化ガラスの弱点である小口面は、ステンレスの枠を設けて安全性に配慮しています。

モニュメントの横には説明サインを設けています。デザインに雪の結晶を取り入れたステンレス製のシンプルなサインです。

直線的でシンプルなデザインにする事で、目立ちすぎる事を避け、モニュメントを際立たせています。

サインには両選手の手形を原寸大で彫り込んでいます。訪れた人々が手形に自分の手を合わせる事で、より選手に親しみを感じてもらう仕掛けです。

手形は、ステンレスに彫り込み加工しているので半永久的に残ります。

またステンレスはランダムヘアライン加工をしているので、指紋や手あかが目立たないように配慮しています。

モニュメント設置床面は、五色沼の形を模ったゴムチップ舗装を施しています。国内外の人々にアピールする事を目的としてましたので、五色沼のローマ字読みを埋め込んでいます。

計画地が市営地下鉄駅の出入り口の近くである事から、通勤通学客の動線とモニュメントの写真撮影による人だかりをなるべく離す事を目的とし、モニュメントは若干斜めに配置しています。



除幕式には、荒川静香さんと羽生結弦選手にも参列して頂き、テレビや新聞で大きく報道されました。地元仙台では除幕式の様子を生中継する1時間の特別番組も組まれました。現在は、仙台市の観光マップにも掲載される名所となっています。

特に羽生選手ファンにとって当地は聖地になっていて、平日、休日を問わず観光客が集まるスポットになっています。

＜ガラスモニュメント：H2300 x W1600＞
本 体：ステンレス材（研磨仕上）
強化合わせガラス
表示面：中間膜 UVP 印刷

＜解説サイン：H1800 x W500＞
本 体：ステンレス材（研磨仕上）
表示面：ステンレスエッチング板

＜舗装チップ：W4440 x D1600 ~ 945＞
本 体：ゴムチップ舗装

発 注 元：仙台市役所
設置場所：宮城県仙台市青葉区国際センター駅前広場
デザイン・設計・施工：㈱サイト
サイト担当者：古川・中嶋
竣工時期：平成 29 年 4 月

設計金額
ガラスモニュメント ￥1,800,000/- 基
解説サイン ￥300,000/- 基
ゴムチップ舗装 ￥200,000/-

16 東松島市震災復興モニュメント設置業務

東日本大震災により東松島市では 1000 名を超える尊い命が失われ、多くの住宅、都市及び産業基盤にも壊滅的な被害を受けました。

犠牲になられた方への鎮魂、東松島市の復興、国内外からの支援への感謝、震災の記憶の伝承をテーマにモニュメントを整備するため、東松島市にてプロポーザルが行われ、弊社デザインを採用頂く事ができました。

中央の 3 本の柱はモニュメントのテーマである鎮魂・復興・感謝の 3 つの要素が立ち上がっていることを表すと同時に、3.7m という津波浸水高も示しています。左右対称に均整のとれた形は穏やかな海をイメージしたもので” 平穏な日常を誰もが安心して過ごせるように” との思いを込めています。



正面には扉を設置し、内部に亡くなられた方々のご芳名をステンレスエッチングプレートに刻んでいます。取り外し可能な形状になっており、加除修正が可能になるよう工夫しました。

扉を開放している時と閉鎖している時ではデザインが変わり、開くと結び目のような模様になることで地域の絆・つながりを表現しました。

背面にはご芳名と同様にお亡くなりなられた方々の人数分の御霊を表現した正円をブラスト加工にて施しています。

復興へのあゆみや国内外からの支援の感謝、震災の記憶をエナメタル印刷のサインで掲示しています。

一直線ではなく、折れ曲がった形になっているのは、園路の線形に合わせるため・威圧感を和らげるため・慰霊碑への導線の検討、様々な理由からこのような形状になりました。モニュメント正面側のサインは車いすでも容易に近づけるよう設計したデザインになっています。

除幕式典では市内外から多くの参加者が集まり、全員で献花を行い、その様子は NHK でも全国放送されました。震災直後より東松島市への支援をおこなっているデンマークのフレデリック皇太子殿下も献花に訪れました。震災の記憶を風化させないための地域の拠点になるとのお言葉も頂きました。

＜慰霊モニュメント：W13000xH3700＞
本 体：白御影石（本磨き / ビシャン仕上）
黒御影石（本磨き仕上 / 文字彫り込み色挿し）
ステンレス材（研磨仕上）
表示面：エナメタル印刷
御芳名板：ステンレスエッチング板
＜舗装＞
白御影石（ビシャン仕上）

発注元：東松島市役所
設置場所：宮城県東松島市野蒜北余景
震災復興祈念公園内
デザイン・設計・施工：㈱サイト
サイト担当者：仲・奥
竣工時期：平成 29 年 11 月

設計金額
慰霊モニュメント
白御影石舗装 ￥27,200,000/- 基

